

「(香港中文大学サマープログラム) 参加報告書」

京都大学経済学部4年 (下り藤慶輔)

今回の留学で得られたものは大きかった。まず学習面であるが宿舎での生活においてはルームメイトの英国の大学に通うニュージーランド出身の華僑の子は英語話者であり中国語もまだ学習したてであり3週間のうち毎日彼とは豊富な時間を共有し英語での会話をした。私にとって英語圏の人間とじっくり話すという経験は初めてであり非常に英語の表現および聞き取りの力の向上および帰国してから一層英語勉強に注力せねばならないという強い動機づけともなり今回の留学でもっとも自分にとって大きい成果になった。また彼には私から中国語でいろんなことを英語で教えるという貴重な体験もできた、中国語を教えるという経験はあったが英語で中国語をやるという試みに非常におもしろさを感じた。今後も英語と中国語をある程度セットで学習していきたいと思うようになった。CUHKでのサマープログラムの中国語のクラスは東京外国語大学の中国語専攻2年生中国語会話の授業のレベルに酷似しており似たような経験もあったがまたレベルがそこまで高くなかったので確かに中国語の語彙の増加、そして今まで自分がやってきたことの復習にはなったが飛躍的な中国語能力の向上にはつながらなかった。また大学生活以外において中国語を聞いて話す機会は限られていた。それは香港がほぼ完全なる広東語社会であることに起因した。私は毎日授業後街に出かけたが普通語が通じる香港人のほうが少なくまた話せたとしても強烈な訛りのために非常に聞き取りづらい。中国語を一年程度やったというレベルでは香港で中国語を使うというのはかなり難易度が高いことであると思う。

また学習面以外においての感想であるが香港は非常に魅力的な都市であり多言語多文化のミックスカントリーであり香港に3週間という時間滞在しさまざまな街をひと通りあるいてみればその多様性に驚かされる。中国語大陸のどの都市に比べても包容力の高い都市であることは間違いなく、香港というある種グローバルと言われる世界の縮図を覗き見ることでさまざまな影響がもたらされるのではないかと思う。私も今回の香港滞在は必ずや将来世界各地で生活してやるという動機への大きな一因になった。留学先滞在先としての香港の魅力の高さは他の都市と比べても非常に高いのではないか。

短期留学を通して得られたものの一つには留学とはいかなるものかという経験ができたこともあげられる。今回の短期留学を通してやはり一年間語学留学するというのは京大生にとって非常に無駄の大きいことであるという認識が生まれた。語学を使って何かを勉強するのであれば一年という時間は十分留学して消費するにはよいとおもいがひたすら言語を学ぶためだけに費やしてしまうのはあまりにももったいないことだという考えに至った。本プログラムは京都大学はサポートをするといっても緊急連絡などのことにとどまりほとんど香港中文大学のサマープログラムにのっかるという形のものであった。香港中文大学のサマープログラムは日本人参加者が非常に多く日本人にとっても高い評価を受けているものであることがわかる。サマープログラム自体は確かに密度も高く、充実したものであったと思う。ただ本プログラムに参加するにあたり私は最低でも一年間の中国語学習経験を積んでからのほうがより効率的な学習をすることができると思う。まったくの初心者が中国語を始めるのならばむしろ日本のほうが環境がよいだろう。本プログラムはもっとも中国語を学習してしばらく立ち、耳も慣れてきてさらなるステップアップを果たす学習者にもっとも効果の大きいものとなりえることを確信した。反対に中国語を2年以上やり日常会話も支障なくできHSKも6級取得した人にとってはサマープログラムの学習はさほど革新的なものには映らない。それでも英語を試す機会もふんだんに設けられており香港での広東語に触れるきっかけにもなるから無駄にはならないだろう。

最後に進路への影響だがやはり海外で働く人間になりたいという強い希求を生じさせるものとなった。

私は本プログラムに参加させていただき大変に幸せであった。同じ京大生留学生のみなとも関係を深くできよき友人となることができた。最後に留学生課の田中さんには毎回ご迷惑をおかけしてしまい大変に申し訳ありませんでした。なんどもお叱りを受ける形となり田中さんの顔をつぶすこともありましたが、田中さんのような方のおかげで私達が安全に安心して留学を経験できるものだということが深く理解できました。ありがとうございました。